

(様式 3 : 全対象事業共通)

平成 31 年度第 1 回エネルギー構造高度化・転換理解促進事業評価報告書

補助事業名	温水プール木質バイオマスボイラー導入事業
補助事業者名	阿久根市
補助事業の概要	<p>B & G 海洋センタープールへ木質バイオマスボイラー設備導入のための設置工事</p> <ul style="list-style-type: none">○熱供給先 B & G 海洋センタープール○熱供給設備 木質バイオマスボイラー○熱供給能力 180 kW (0.648 G J / h) 程度○バイオマス依存率 100%○燃料及び原料 「チップ」○原料 市有林の間伐材等を活用するなど、地域資源の地産地消を目指す。
総事業費	95,315,000 円 (税込)
補助金充当額	48,052,116 円 (税込)
定量的目標	<ul style="list-style-type: none">○アンケート調査での市民の意識向上 (再生可能エネルギー等について興味・関心がある) H28 : 71.9% ⇒ 5 年後 : 82.0%○A 重油年間使用量 95%削減 H29 : 35,020 L → 木質バイオマスボイラー設備設置後 : 1,735 L○温室効果ガス削減対策費削減効果 (木質バイオマスボイラー設備設置後) 85CO₂ トン/年○地域産業 (林業) への振興 産業別就業者数 H27 (2015) : 31 人 → R12 (2030) : 40 人

<p>補助事業の成果及び評価 （事業毎にあらかじめ設定した事業目標を達成したかなど）</p>	<p>平成 31 年度及び令和元年度での本補助事業では、木質バイオマスボイラー設置工事によって、当該設備を導入することができた。今後は、木質バイオマスボイラー設備を運用することによって、更なるエネルギー構造高度化等に向けた市民の理解促進に資する効果が期待される。</p> <p>定量的成果については、設備導入後に現れるものと考えており、今後も市民に再生可能エネルギーの必要性を広く伝え、さらに、市内のエネルギー構造をより一層高度化させていくためにも、設備の運用体制など施設の利用者の意見も聞きながら調整する必要があると考える。</p>	
<p>補助事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約 （※技術開発事業のみ：間接補助を行った場合は、間接補助先を記載）</p>	<p>契約（間接補助）の目的</p>	<p>阿久根市B & G海洋センタープール木質バイオマスボイラー設置工事</p>
	<p>契約の方法</p>	<p>指名競争入札</p>
	<p>契約の相手方（間接補助先）</p>	<p>株式会社大石電機設備工業</p>
	<p>契約金額（間接補助金額）</p>	<p>95,315,000 円（税込）</p>
<p>来年度以降の事業見通し</p>		

（備考）

- （1）定量的成果目標の欄には補助金応募申請書提出時に設定した成果目標をそれぞれ記載すること。
- （2）補助事業の成果及び評価の欄には、（1）で記載した内容に対応した、定量的な成果実績と評価を記載すること。
それ以外にも、定性的な成果実績や、進捗度、利用量並びに効果等といった別の定量的な指標があればできる限り数値を用いて記載すること。
- （3）契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。間接補助を行った場合は、記載不要。
- （4）来年度以降の事業見通しの欄は、本事業に来年度以降も補助金を充当しようとする場合のみ記載。